

鉾田市まちづくり推進会議広報

IPPO ～ 一歩 ～

第14号

平成29年4月27日発行

(写真：烟田城跡より北浦を望む)

IPPO発刊によせて

運営委員会委員長 田口裕之

皆さん、こんにちは。広報誌IPPO14号を発刊させていただきます。今号では、段組構成や特集記事の欄などを設け、皆さんに読み易く、親しみやすい紙面をと、趣を変えてみました。

平成28年度も、まちづくり推進会議全体と各部会において、充実した事業が展開されました。

まずは、三回目となった東日本大震災被災地支援事業です。石巻バイパス用地仮設住宅の女川町民の皆さんに、JAほこたと事業所の皆さんのご協力で鉾田の野菜を提供でき、住宅の組合長さんから「大変助かります。」と感謝の言葉をいただきました。

推進会議事業の一つの柱である「教育問題」については、五回目となる新春教育フォーラムの中で、これから教科化が決まっている道徳をテーマ

に、いじめや不登校の解消を目的とする新しい道徳教育について、参加者とともに考えを深めることができました。

そして、ほこた塾の特別講座での史跡探訪や常陸国風土記に見るほこた風土記の世界では、多くの発見がありました。郷土史研究家の方々や鹿行文化研究会の先生方にご案内をいただき、鉾田の古代の風景や人、歴史のロマンを堪能する事ができました。これからももっとその足跡を辿り、知識を深めながら、それら文化遺産や自然遺産を鉾田市の貴重な資源として今後どう活かしていくのが、私たち、まちづくりを標榜するものに求められているのではないかと思います。

私たちは、ものに対する考え方や立場によって、それに伴う行動は違います。しかし、幸せへの追求は誰もが同じです。これからも皆さんの知恵と行動で幸せ装置を創っていきましょう。

各部会だより

広報部会

部会長 田口裕之

ホームページの管理運営と広報誌 IPPO の発行を担当しています。ホームページでは、役員名や主な事業の紹介、今後のスケジュール、各部会の活動内容等の情報を発信しています。また、広報誌 IPPO をホームページでもご覧いただけるようにしました。今後も、皆様により有意義な情報をお届けできるよう、頑張っていきたいと思っております。皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。

URL: <http://www.hokota-machidukuri.com/>

人材育成部会

部会長 飯塚克則

ほこた塾の開催運営を主な事業としています。昨年度で 17 期目のほこた塾を開催しました。カリキュラム構成は、八つの基本講座と三つの特別講座から成り、今期は、会員の様々な繋がりにより、なかなかお呼びできないような方を講師にお招きすることができ、塾生にも大変好評で、面白かったという感想をいただきました。次期、18 期目も開催予定ですので、ご期待下さい。

仲間づくり部会

部会長 深作和則

皆様方のご協力、ご参加により平成 28 年度の仲間づくり部会の事業活動を無事終えることができましたことをお礼申し上げます。

継続事業でありますほこたカルタ大会においては多くの小学生が参加し、子供だけではなく大人も一緒に銚田の旧跡や名所などを楽しみながら学ぶことができました。また、婚活事業につきましても、数々の趣向を凝らした出会いの場を演出・提供し、好評のもと開催させていただいております。

(☞ 特集記事を 3 ページに掲載)

今後も市内の歴史や文化の継承や男女の出会いの場の提供等を通してまちづくりに寄与していきたいと思います。

自然環境部会

部会長 小沼 勲

平成 28 年度自然環境部会では、北浦周辺を中心に8回の自然観察会と 2 回の移動研修、カムリカイツブリの誘導浮巢の設置や清掃活動を行いました。また、北浦周辺の自然再生を進める会との共催で野草試食会を開催しました。

印象に残っているのは、春の雑木林の花たちをめぐった癒やしの一時、美味しかった野草の天ぷら、大勢の部会員と訪れた波崎のコアジサシのコロニー(写真上)、背中に乗ったカムリカイツブリの雛などです。なお、観察会では見られませんが、海鳥のオオハム(写真左下)が巴川河口に 1 月中旬～3 月上旬まで滞在していました。セイタカシギ、メボソムシクイ、マガン、オシドリ、アオバトなど銚田では珍しい鳥の報告もありました。ハヤブサ(写真右下)やチュウヒなどの希少な猛禽類の出現頻度も確実に高くなってきており、今後も継続的に観察を行っていききたいと思います。



仲間作り部会 「婚活」事業紹介

部会長 深作和則

私たち仲間作り部会は、6年ほど前から、若者の未婚化晩婚化を身近で重要な問題と捉え、結婚に繋がる出会いの場の提供ができればという思いで、婚活事業を開催してまいりました。最近では親御さんからの問合せや、次回開催の問合せ、又は、友人が参加したのを聞いての申し込みやリピート参加などが増えてきています。これらの状況を見ますと、活動がだいぶ認知されてきたのと同時に、このような事業が求められているということ強く感じております。



遠足婚活での大子おやき学校にて

出会いのお手伝い
スタッフ募集!!



参加者の作ったホールケーキ

一人でも多くの方に人生の伴侶と出会って頂けるよう、スタッフ一同近所のお節介オバサン、お節介オジサンとなって試行錯誤しながら、ひきつづき結婚に繋がる出会いの場を提供していきたいと思っておりますので、是非、独身の方は気軽に御参加いただければと思います。

いままでに開催された主な婚活事業

- イチゴ狩り婚活(市内いちご農園にて)
- 男塾(身嗜み、話し方)女塾(メイク術、エステ)婚活
- バーベキュー婚活
- ロールケーキ作り婚活
- ホールケーキ婚活
- ホコタ街コン(市内飲食店4店舗にて100人規模)
- 大子方面遠足婚活
- スポーツ婚活(ソフトバレー、インディアカ)
- カレー作り婚活
- アロマ作り婚活
- 鉾田花火大会婚活



当婚活事業にてゴールインした、
雑賀利雄・なつみ夫妻

塾長の独り言

～私のこととか、まちづくりとか～

第17期ほこた塾塾長 野村正満

ゆくゆく

この銚田の地に住まいを移して、今年で八年になる。東京で生まれ育ち、学校に通うのも仕事の場の拠点としても東京を離れたことはなかった。仕事はずっとテレビ番組を製作する現場である。具体的には番組の台本を書く仕事である。そんな私が三十歳前後の頃、五年間ほど全国各地をまわり、毎週ひとつの村を取材して番組にすることがあった。その村とは行政単位の市町村の村である。当時は市町村の合併は今ほど進んでおらず、全国で600ほどの村があった。そのうちの半分、300村に行った。山の村もあれば海の村もある。やはり、村というだけあって、そのほとんどは辺鄙で、東京しか知らない私にとって不便な生活を強いられるであろうことは、よくわかっていた。でも、ゆくゆくは東京を離れて、のんびりと自然に囲まれた環境で生活したいと考えるようになった。その想いは変わることなく、実現したのが八年前の夏である。もう六十歳を少し超えていた。どうして銚田になったのかについては、別の独り言の機会にしようと思う。

わくわく

まわりはサツマイモやニンジン、ゴボウの畑が広がり、農業用ハウスが棟をなす風景の中に家が建った。敷地はもともとは畑で、少し雨が降るとドロドロで玄関に入るのも大騒ぎである。銚田に来て一カ月ほど、玄関へのアプローチに石を敷こうと作業している時、お腹がひどく痛くなった。どこに診察を受けに行けばいいのかもわからないまま、銚田の町中の病院に飛び込んだ。急性胆嚢炎だった。いわゆる胆石である。黄疸の症状も出ていた。すぐに入院、治療は絶食療法、医師によると「とりあえず、体調を正常に戻さないといけません。おそらく胆嚢を摘出することになると思いますが、ここでは手術ができませんから」といわれ、寂しい病院で入院生活を送ることになった。というのも、当時話題になったシルバーウィークとやらの連休に入って、外来患者や医師の姿もない文字通り寂



(著者近影 第17期ほこた塾基調講演にて 平成29年2月16日)

しくて心細い入院中、東京の友人の医師から別件で電話があり、その際にすぐに転院することになった。移住者にとって、新たな生活の場はわくわくするような想いと同時に不安もたくさんある。散髪ひとつとっても、どこに行ったらいいのか、迷うもの。なにしろ情報が欲しい。銚田に来て胆石騒ぎでそれを実感した。

もともと

これまで経験したこともない土いじりをし、下手くそながらも大地の恵みにあずかり、感動しながら新たな生活に馴染んではきたものの、考えてみれば、銚田のことなどほとんどわかっていなかった。また、銚田という地元からも私の目に届くような情報発信はほとんどなかった。そんな中で、ほこた塾の存在を知った。参加してみても、銚田という地域のことが少しずつ理解できるようになってきた。移動教室での銚田の歴史探訪などでは、知らないことばかりだった。同時に忌憚なく話し合える友人も



(銚田の歴史探訪でのスナップ 平成29年1月14日)

できた。鉾田で生まれ育った塾生でさえ初めて知ったこともあったらしい。そんな中、昨年の夏にひよんなことからこの私がほこた塾の塾長を仰せつかることになった。鉾田の新参者にとって、塾長というのはかなり荷が重い。それでも、お引き受けすることが世のためだと説得されてしまった。まあ、先輩諸氏のお力を借りれば何とかなるか、と極めて軽率な決断でもあった。もともとは好奇心が旺盛な性格である。あれは何だ。どうしてそうなるのか。いつも疑問がいっぱいの頭の中である。その辺のことをほこた塾の中で生かすことができればと思った。

きらきら

ほこた塾の主催者は鉾田市まちづくり推進会議である。元来はまちづくりを担う人材を育成しようという立派な目論見があったようだ。その産声からほこた塾はもう二十年にもなるのだという。二十年もその活動を続けることは容易ではない。先輩たちのご努力に敬服しなければならない。ところがである。まちづくり、という観点からすると、どうも納得がいかない。こちらに来てから、そういえば鉾田

の町で、何か新しい取り組みに生き生きとした人々の表情に出会ったことは一度もなかった。豊かな自然があって、過ごしやすい環境がありながらも、きらきらとしたものは感じ取ったことがない。ありていに言えば、鉾田の人たちはただ漫然と生きているようにさえ見えてしまう。

どきどき

全体が高齢化していく中で、この町はこのままだどう変化していくのかを見定めて、まちづくりを考えるべきだろう。まちづくりはコミュニティの新たな形を作る試みだ。多くの人々に鉾田の良さを訴え、鉾田に足を運んでもらい、鉾田と一緒に生活してもらおう。でも、灯台下暗し、古くから鉾田に住む人はその魅力が見えていないことも多い。そんなところから第十七期ほこた塾では鹿児島出身の藤井信吾取手市長や、ふるさと回帰センターの高橋公氏に講演をお願いした。いろいろとお話を聞きたい方はいるのだが、予算がほとんどないので簡単ではない。制約が多い中で、いかにして楽しくてどきどきするような講座を開いていけるのか、ハードルは結構高い。

第17期ほこた塾 講座内容

基本講座

[各講座は原則第1・第3木曜日に開催]

回	テーマ	内容	講師	開催日(曜日)
	事前説明会	塾の内容と入塾式の説明	実行委員会	10月13日(木)
1	入塾式・基調講演	魅力度ランキング全国第47位の茨城県44市町村で鉾田は第何位	茨城大学特任教授 長谷川幸介氏	10月20日(木)
2	都市から地方への移住が拡大	ふるさと回帰運動のいまを語る	NPO法人「ふるさと回帰支援センター」 代表理事 高橋公氏	11月10日(木)
3	Love yourselfと地域振興	茨城をエンターテイメントで溢れる街に!	シンガーソングライター水戸の魅力 宣伝部長 磯山純氏	11月17日(木)
4		鹿行地方の中核としての魅力を	茨城新聞社 元社長 友末忠徳氏	12月1日(木)
5	茨城県の市長になった薩摩隼人	「よそ者」だから見えること	取手市市長 藤井信吾氏	12月8日(木)
6	第5回新春教育フォーラム	道徳の教科化ってなに? それで、いじめや不登校は無くなるの!	武蔵野大学 教授 貝塚茂樹氏	1月29日(日)
7		茨城ならではの子育ての楽しみ方	「ひらけ! ポンキッキ!」8代目お姉さん フリーアナウンサー鈴木もえみ氏	2月2日(木)
8	卒塾式・基調講演	やさしさって何だろう ～骨髄バンクと住民投票	全国骨髄バンク推進連絡協議会 理事長 野村正満氏	2月16日(木)

特別講座

[特別講座は昼間の時間を予定]

回	テーマ	内容	講師	開催日(曜日)
I	我がまちの史跡探訪①	展示施設「あけぼの館」と史跡巡り	郷土史研究家 渡辺俊夫氏	1月14日(土)
II	我がまちの史跡探訪②	鉾田の歴史と史跡巡り	郷土史研究家 大沼信夫氏	12月10日(土)
III	鉾田の自然環境	ラムサール条約登録から2年、何ができる鉾田の今日と明日	(公財)日本生態系協会会員 川又利彦氏	2月11日(土) 13:00~15:30

☆各講座とも講師の都合などにより日程・内容が変更になる場合もあります。

(第17期ほこた塾 … 野村塾長だからこそ実現できたユニークなテーマ、豪華な講師陣が並ぶ。)

第5回 新春教育フォーラム

～新しい「道徳」を考えよう～

平成29年1月29日(金) 銚田市立旭公民館講堂において、第5回新春教育フォーラムを開催しました。小学校が2018年度、中学校は2019年度に「道徳」が教科化されることに先駆けて、道徳教育を研究して来られた銚田一高出身、武蔵野大学教授の貝塚茂樹先生の基調講演とパネルディスカッションを行いました。

講演では「道徳の教科化って何？ それでいじめや不登校がなくなるの？」をテーマにお話していただきました。戦後70年を経てようやく教科化されることで、道徳教育の量的確保と質的転換をはかり、子どもたちの多面的な思考を育み、いじめの防止につなげていくことを目指すというものでした。温厚な人柄の貝塚先生の道徳教育に対する熱い思いが伝わってくる講演でした。

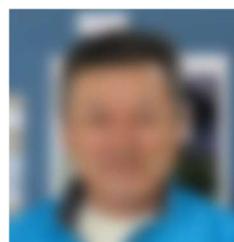
パネルディスカッションでは貝塚先生の他に3人の方に登壇していただき、子どもたちの現状や問題点、学校での取り組み、家庭での考え方などについて有意義な話し合いが持たれました。



会員紹介コーナー

「他の部会にはどんな人がいるのか知りた〜い。」そんなご要望にお応えするため、会員紹介コーナーを作りました。第2回となる今回は、自然環境部会の小沼勲さんの登場です。

氏名	小沼 勲
住所	銚田市上富田
生年月日	
趣味	寺社巡り
所属	自然環境部会
何か一言	



自然を見て、聞いて、味わって楽しむことが大好きです。銚田には山あり、湖あり、海があって、歴史あり。面白いこと、美味しいもので溢れています。楽しんでいきたいと思ひます。

編集後記

IPPO第14号いかがだったでしょうか。キラキラと輝く婚活事業、ほこた塾野村塾長の熱い胸の内は伝わりましたか？ 行事報告はホームページにおいてもタイムリーに発信していきますので、ぜひご覧になり「いいね！」をクリックして下さいね。

(編集メンバー：田口裕之 雑賀美丘 大木繁夫)

